

【表1】1911年(明治44)7月「八東郡青年会主催各府県視察修学旅行団」の旅行日程
〔出典〕松江市島根町・高井家所蔵「明治四十四年七月二日 八東郡青年会主催
各府県視察修学旅行団出発日記」

日	時刻	旅行団の日程
2日	8時 9時 10時34分 12時23分 14時30分 15時	八東郡役所集合 熊谷郡長(団長)による「旅行中心得」訓示。 4部編成、各部に部長・幹事を置く 松江駅に移動 郡役所職員・各村長・学校教員・役場吏員・各村有志者、万歳で見送り 松江駅発車 馬潟・出雲郷・揖屋・意東の各村役場職員・学校教員・青年会員ら100 余名、各駅・途上で万歳唱和して見送り 米子駅にて「折詰」配付 米子駅出発→境着 阪鶴丸乗船。熊谷団長一等室、団員は三等室 出帆
3日	4時 7時30分 15時21分	舞鶴着。汽車乗車。 綾部駅着。朝食、乗り換え。大阪→天王寺→ 奈良駅着。奈良県農事試験場長・中村鉄太郎(松江出身)らの出迎え。 春日神社参拝、大仏・公園・南円堂等観覧、月の家・イロハ館に分宿
4日	7時30分 12時7分 14時	奈良駅発 伊勢山田駅着。昼食。 団長「神宮参拝中ハ敬虔謹直の意を表する様訓示」。隊伍を整う 「大廟」(内宮)参拝。 「会長ハ郡青年会統一以来の治績を奉告シ且ツ勅語を捧読シ終て一同礼 拝、神氣身に迫るを覚えたり」 神宮司庁で優待、神苑にて整列撮影。外宮参拝→二見浦巡覧→高千穂館 投宿。夜食後、市内観覧
5日	7時50分 12時7分 18時19分	山田駅発車 名古屋駅着。昼食。熱田行に乗り換え。 「有名なる熱田神社に参拝シ青年会益健全発達を祈」る。 熱田→名古屋。名古屋市商品陳列館参観。 名古屋駅長の歓待を受ける。 東京行きに乗車、「見送り者の万歳聲裡に出発」
6日	5時50分	新橋着。加治屋・新橋館に分宿 日比谷→凱旋門通→二重橋・皇居遙拝→内務省 内務省会議室集合。平田東助内務大臣は欠席。地方局の井上友一府県課長 中川望・潮恵之輔両書記官、前田属等参列。 中川・前田ら演説。「今回の視察は地方団体の嚆矢にして其影響する処 大なるべし」「十分視察の目的を貫徹すべし」 潮書記官訓話「島根県も近き将来鉄道貫通せば、自然の趨勢として人情 ・風俗・農村の美風は下落して、充分此の如き弊を避くべし。是諸君の 大責任なり」 地方改良実測統計類の配付を受け、各府県出品の成績品参観。開催中の 内務省町村自治講習会場で「全国模範村成績品数百点に就き前田属官の 詳細なる説明を受」ける。 日比谷公園巡覧。貴族院を参観し、「特に御便殿及び皇族の御控室の拝 観を許されたり」

日	時刻	旅行団の日程
7日		愛宕山芝公園遊覧。農商務省商品陳列場・芝離宮・海軍省参考品陳列場巡覧。 国民新聞社工場で活字器械印刷の実地説明、楼上会議室で茶菓の饗応。「日 曜講話及び紙型板等の寄贈を受ける。 農商務省に出頭、高等官会議室で参考品等の配付を受ける。押川次官は高 等官数名、農政課長以下属技手等二十余名とも列席し、会長より今回の 旅行法その他について聴取。その後約2時間にわたって農村青年会の活 動の基本について訓話。 逋信大臣官舎訪問。
8日	午前	逋信省訪問。後藤新平逋信大臣の懇切な訓話を受け、場内観覧。 「逋相ハ視察旅行の挙を非常に称し特に处世訓一冊宛を贈与せられたり」 文部省訪問。小松原文相代理の田所美治学務局長の深厚な訓話を受ける。 早稲田の大隈重信伯爵を訪問。「伯は欣然として一行を迎へ一場の講話を 為し、亟で其庭園を案内し観覧後記念撮影を為し、茶菓を饗応せられ、 同校内を参観せり」 麦酒会社で製造室見学、洋食の饗応あり。これにて東京での予定終了
9日	終日	自由行動で日光山参拝、帰京後東京名所巡覧
10日	5時50分 12時20分 16時50分	旅館→新橋駅。出雲出身者の見送りを受ける。 新橋駅発。「途中、富士山の風光を称」す。 興津駅着。熊谷会長の引率で、農商務省園芸試験場視察、場長講話あり。 興津駅発、京都行き。
11日	3時59分 17時50分 18時30分	京都駅着、田友館に投宿。京都名所巡視。 京都駅発。 大阪梅田駅着。出雲文旅館、石見屋嘉兵衛方(江戸堀南通4丁目)に分宿。
12日	午前	造幣局参観。 農工商に関する視察、名所旧跡巡覧、夜景見物。 「在阪多数の本県人諸氏は出雲文旅館に会長以下を訪問し来り」
13日	6時30分 2時40分 19時30分 21時40分	旅館→梅田駅梅田駅発車、神戸駅着。湊川神社参拝。 (神戸→姫路)姫路から城崎に到り、連絡船大成丸事務長の出迎えを受け る。川舟、腕車(人力車)で津居山港着。 津居山港出航。 浦富港着。「岩美駅長岡本浩三氏は一行の乗用に充つべく腕車四十台、馬 車三台を準備する等斡旋を為し、一同乗車岩美駅着」 「特に仕立てたる二台の専用客車を連結し」岩美駅発。 鳥取駅着。旅館鳥取温泉に投宿し、慰労会開催。 意東村青年会長伊藤辰太郎開会の辞、熊谷会長は視察中の所感、「帰郷 後の心得及び青年会員の執るべき実行方法に就て希望を述べ」、全員壮 健を祝う。
14日	午前 11時25分 14時5分 16時7分	鳥取市内各所巡覧。 鳥取駅発。途中、宝木駅で八東郡出身の野津宝木警察署長の出迎え。 倉吉駅で今井駅長の斡旋あり。 米子駅着。「米子より一行見送りのため田中車掌監督乗込めり。八東郡堺 に入るや意東・揖屋・出雲郷・竹矢各村青年会村長以下、役場員、学校 職員、児童等整列盛に送迎したり。」 松江駅に帰着。「八東郡役所員・県会議員・各村長・学校長・村青年会・ 新聞記者及団員の親族・知己等約百余名、フラットホームに出迎へ、一 同下車。後一文字支店前に集り、熊谷会長答辞を述べ、伊藤青年会長の 発声にて萬歳を三唱し、全く散会せり。」